

	タイトル	サブタイトル	内容
44回 22・7・6 (火) 伊藤健蔵	S造の守護神”耐火被覆”その1耐火塗料について 講師 エスケー化研様	耐火塗料について使い分けや種類を知る	耐火塗料の拾い方 耐火時間の違い 一般耐火被覆との比較 塗装面積の算出だけでは駄目なの

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	耐火塗料の厚みの基準は鋼材の厚みに因ると聞いていますが、H鋼のウェブ、フランジの厚みの違う場合はどうなりますか？	耐火塗料の被覆厚は、 H_p / A (鋼材の熱容量) によって算出されます。 H_p : 火災時に加熱を受ける鋼材の周長 (m) A : 鋼材の断面積 (m ²) 添付のSKタイカコートパンフレット (p 5) を御参照下さい。
2	耐火塗料下地は、一般錆び止めでもよろしいですか？	標準仕様は二液変性エポキシ樹脂錆止となっております。ただし、改修物件や既に他の錆止塗料が施工されているケース等につきましては、物件毎にお問い合わせ下さい。
3	2時間耐火、1時間耐火、30分耐火の違いは何ですか？	1時間耐火・2時間耐火は建築基準法第2条第七号、同法施行令107条(耐火構造)による認定です。 30分耐火につきましては、建築基準法施行令第70条(柱の防火被覆)に基づいた認定となります。 添付のSKタイカコートパンフレット (p 2) を御参照下さい。
4	以下についてご教示ください。 ①耐火塗料の拾い方 ②耐火時間の違い ③一般耐火被覆との比較 ④塗装面積の算出だけでは駄目なの	①耐火塗料の拾い方 各鋼材別に表面積を算出して下さい。 ②耐火時間の違い 質問番号3を御参照願います。 ③一般耐火被覆との比較 耐火塗料は膜厚が非常に薄く、意匠性・耐久性に優れた耐火被覆材です。 ただし、従来工法と比較すると高コストとなります。 ④塗装面積の算出だけでは駄目なの 耐火塗料は鋼材により被覆厚が変わりますので、各鋼材別に数量を算出する必要があります。

5	工場塗装と現場塗装のいずれの方法が多いですか。	99%が現場塗装です。ただし、物件によっては工場塗装対応も可能です。(実績有り)
6	塗装工程を教えてください。又、鉄骨面以外に使用することがありますか。	【SKタイカコート内部仕様】 1. 下塗り(錆止) 2. SKタイカコート主材 3. 専用上塗材 【SKタイカコート外部仕様】 1. 下塗り(錆止) 2. SKタイカコート主材 3. 中塗材 4. 専用上塗材 なお鉄骨面以外に使用することはありません。
7	鋼材メンバーと耐火時間と被覆厚の関係がわかる一覧表を頂けますか。(HPでは1h耐火の表はありましたが)	添付のSKタイカコートパンフレット(p5)を御参照下さい。なお、一覧表に掲載されていない鋼材の場合は、別途お問い合わせ下さい。
8	耐火塗装下の鉄骨面サビ止めは、別計上する物、耐火塗装に含まれている物、耐火塗装としての施工範囲を教えてください。	SKタイカコートの設計価格には、現場でのタッチアップ処理としてのSKタイカコート下塗材価格が含まれています。下記のファブ施工のケレン費用及び下塗材につきましては、別途計上して頂く必要があります。 【SKタイカコート内部仕様 別途計上分】 ・2種ケレン費用 ・SKタイカコート下塗材 【SKタイカコート外部仕様 別途計上分】 ・1種ケレン費用 ・SK#8000プライマー ・SKタイカコート下塗材 なお、当社施工範囲は、現場での下塗材タッチアップ処理+SKタイカコート主材+専用上塗材施工までとなります。
9	鉄骨が表しで耐火塗装を行う場合、鉄骨面に下地塗装が必要です。エスケー化研さんの商品ですと、SKタイカコートがよく用いられますが、どのようなものですか。また、その特性を教えてください。	SKタイカコート施工に用いる下塗材は、二液変性エポキシ樹脂の錆止塗料です。(SKタイカコート下塗材)上記錆止塗料は、防錆力が非常に高く、SKタイカコート主材との適性に優れるという特長があります。

10	吹付の耐火被覆で、鉄骨面に錆止塗装をする場合がありますが、J I S K-5621を使用した場合、付着が悪いため、設計図への質疑で、J I S K-5625もしくは5622に変更するようお願いをしますが、付着が悪い理由を教えてください。	J I S K-5621は防錆効果が低く、樹脂量が多いのが特長です。一方、J I S K-5622及び5625は、J I S K-5621と比較して、防錆効果が高く、樹脂量が少ない事から、吹付ロックウールとの付着が良いとされています。
11	少量の施工であったとしても、何工程に作業が及ぶため工事費の最低保証が必要になりますが、いくら見込めばよろしいですか。	耐火塗料は鋼材サイズごとに被覆厚が異なるという特長があります。厚みの違いにより、工数（施工日数、塗り回数）が大きく変わってくるため、最低保証を設定する事は困難ですので、物件単位で弊社までお問い合わせ下さい。
12	外部用とか内部用とかの区分はありますか。表面仕上には、塗装のほかには何か別の仕上をしても良いのですか。またはできますか。	SKタイカコートには、内部仕様と外部仕様の区別があります。（質問番号6を御参照願います）表面仕上は、意匠性塗材やクロスなど、耐火塗料の発泡を阻害するものでなければ仕様設定可能です。
13	どの様な建物によく使用されますか。また、どんな部位に使われる事が多いのですか。カタログ・写真等で説明願えると助かります。	耐火塗料は現在様々な建築物に採用されています。主なものとしましては、商業・ビル・病院・学校・ショッピングセンター・工場・倉庫・空港・アトリウム・競技場・その他大空間建築物などがあります。添付のSKタイカコートパンフレット（p6以降）を御参照下さい。中部での主な実績としましては、下記の物件がございます。 <ul style="list-style-type: none"> ・中部国際空港 ・ミッドランドスクエア ・モード学園スパイラル タワーズ ・鈴鹿サーキット新グランド スタンド ・名古屋ビルディング ・総合病院南生協病院 ・名古屋市科学館 ・その他